

第 11 回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日 時	平成 15 年 7 月 15 日 午後 6 時		
場 所	中央図書館 4 階会議室		
出席委員	佐治俊彦部会長 藤井佐和子委員 丸本係長	宮部博史委員 山崎三省委員	浜 俊子委員 森川西部図書館長
事務局出席職員	小島課長補佐 並木主任	柏倉係長 桐原主事	米山吉祥寺図書館長 船崎専門委員

議題及び内容

○ 主な協議内容

①武蔵野市図書館の選書について

②その他

なお、主な意見等は以下のとおり。

- ・ 選書に関するアンケート自由記載欄については多種多様な要望が多くある。
- ・ 全く正反対な意見もある
- ・ 何か方針がないと窓口で大変なのではないか？公衆の面前で開けないようなものは置かないとかが一つの基準になるのではないかな。
- ・ DVD、CD、ビデオに関する記載が多いのは図書館側から案内などの説明がないからではないか？DVD等を貸出できないのは著作権の問題とか、ビデオも一般より高価であるとかの案内で、できるものは何でも貼りだしたほうが良い。クレームがあった際に即座に渡すことができるDVD、CD、ビデオに関する案内の紙を渡すなど、すぐ改善できることは行ってほしい。
- ・ 旅行雑誌の選書の基準は何か？
- ・ 専門書が欲しいという意見があるが、市立図書館の対象は一般市民なので大学で使用するような図書を広く深く集める必要は無いと思う。
- ・ アンケートは参考であり、いちいち聞く必要はないがヒントにはなる。
- ・ アンケート自由記載欄をみると、話題になっている本を早く入れてくれ、専門書を充実させてくれということにつきる。
雑誌、AVについては、いずれ検討する。
選書についてあまり不満が出ないのは図書館に来ている人たちだけの調査だからなのではないか？
- ・ 図書館側として、無理に読ませようとするのか、読まないものは仕方なしと考えるのが問題だ。利用者が読みたくないからマンガで釣るのか・・・
- ・ YAで何が貸し出されているかの統計資料がシステム上でないということだが、何が借りられていて、何が借りられていないのかを系統的にどう整理するかが選書部会の仕事だと思う。その意味で、何が読まれているのか

分らなければ話ができない。システムのそれが分るようにしてほしい。

- ・ 今来ている人のニーズを満たしていれば良いか？今来ていない人のニーズを
起こし、利用者を増やしたいか？アンケート自体は良かったが設問が充分で
なかった。利用者以外にも対応できるものを行ったほうが良い。
- ・ 今回のアンケートはやって良かった。来館者の多くが満足していることがわ
かった。
- ・ 図書館も本だけでなく他のマルチメディアに対応するようになれば、図書館
への来館者が増えるのではないか。